

平成30年度 職員等提案制度職員投票 投票結果

職員等提案制度については、平成29年度から優れた業務改善を行った取組に対して表彰しています。被表彰者の選考にあたっては職員投票の形式で皆さんに選考してもらい、その結果、次の2つの取組が選ばれました。

職員投票の投票結果

○投票期間：平成30年7月2日～平成30年7月31日

○表彰ノミネート事例数：26事例

○投票数：1,905票

維持管理課

獲得票数202票

改善事例

道路施設維持管理事業

改善内容

道路の不具合をスマートフォンやパソコンで通報できる仕組みを、既存の電子申請サービスと越谷市統合型GISを活用することで、導入費等のコストをかけずに構築・導入した。

子ども育成課

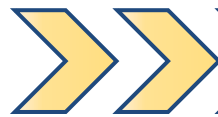
獲得票数153票

改善事例

保育所一斉受付事務

改善内容

長い方で約2～3時間の待ち時間が発生していた保育所一斉受付において、申請までの一連の流れや会場のレイアウトを見直したことで、待ち時間を解消し、スムーズなご案内ができるよう努めた。



受賞者インタビュー



●維持管理課

道路の不具合に迅速に対応する

これまで、道路修繕の要望については、電話での通報や直接来庁していただき依頼を受けるといった手法が主なものであったが、パソコンやスマートフォンの普及に伴い、メールによる連絡の増加が想定される。このような時代背景を考慮し、スマートフォンなどから撮影した写真を添付し、24時間365日、いつでもどこでも気軽に要望することが可能なシステムを構築した。

システムの導入にあたり努めたことは？

他市でこのようなシステムを導入している事例があり、越谷市でも導入について検討していく中で、導入実績のある他市ではインシャルコストやランニングコストがかなりかかっている一方で、処理件数が少なく、費用対効果が低いと感じました。このようなことから、既存の電子申請システムと越谷市統合型GISを活用することで、コストをかけずに同じようなシステムを構築することを目指しました。

導入後の効果や反響は？

スマートフォンのGPS機能を使用し撮影した写真が添付されていれば、場所と状況が一目でわかるため、現地調査の手間が省け、すぐさま必要な措置を行えます。システムによる要望のうち、約半数はこのような写真付きのもので、迅速に市民の安全確保に努めることができています。ただ、セキュアストレージを介したデータのやり取りなどが必要で、そういった部分での手間は増えたため、職員の負担軽減については今後の課題と捉えています。また、現在、広報やホームページによるシステムの周知を図っていますが、より浸透させるため、今後も更なる周知をしていくことが必要であると考えています。

●子ども育成課

ちょっとした工夫で待ち時間の削減に

就学前児童数が減少する中、認可保育所等への入所申込みは増え続け、例年、手続きに多大な時間を要している。このような現状を解消しようと、子ども育成課では、常に問題点を共有し、改善に向けた協議を続けてきた結果、今回の業務改善に至った。申込者一人ひとりに必要な説明を、これまでの待ち時間を利用し、数名にまとめて行うことで、待っている間のストレスを緩和し、受付の処理時間の縮減を図った。受付事務の運用を少し工夫しただけだが、効果は抜群だ。

業務改善を行う上で大事なことは？

子ども育成課では、各種事業のあとに、職員一人ひとりが改善案等について考え、その情報を課全体で共有し、話し合いをしています。今回の業務改善以外にも、例えば番号札の配布による案内や、コンシェルジュによる申請書記載の補助など、様々な改善を行ってきました。もちろん、今後も改善すべき点は多々ありますので、引き続き業務改善に取り組んでいきたいと考えています。

業務改善のポイントは？

職員一人ひとりが、日頃の業務について考え、その情報を共有し、組織として改善に向けた方策を模索していく環境づくりです。